



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「ともに光の中を歩もう」
 アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
 西日本区理事主題 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
 中部部長主題 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春」
 クラブ会長主題 「クラブの定期点検」～活動しやすいクラブでメンバーの心身も健やかに～

がんばれ日本 がんばるワイズ

2017年11月号

—<今月の聖句>—

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。」 ローマの信徒への手紙12章9節

クラブホームページ：<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2017-2018.pdf>

2017年11月例会他ご案内

◎月例会・役員会

と き：11月21日（火）
 時 間：19：00～
 と ころ：神沢YMCA
 ドライバー：下村会長

◎名古屋チャリティーラン

と き：11月4日（土）
 時 間：8：00集合
 と ころ：名城公園
 11月2日（木）15：00よりラッフル
 詰め等準備を行いますのでご協力願います。

◎各部会開催予定日

11月5日（日）びわこ部部会

◎DBC合同例会

と き：11月11日（土）～12日（日）
 時 間：13：00集合
 と ころ：滋賀県 長浜 竹生島

◎中部評議会

と き：11月18日（土）
 と ころ：「お宿やました」（竹下夢二の宿）
 金沢市湯涌町イ165-1 ☎076-235-1021
 第1部 13:30～15:00
 第2部 15:00～16:30

◎第21回中部合同メネット会

と き：11月18日（土）～19日（日）
 時 間：15：30～
 と ころ：湯桶温泉「お宿やました」

10 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド（月）	
	在 席 者	14名	第 1 例 会	11名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	13名	第 2 例 会	9名	当 月・現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	92.9%	そ の 他	12名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

10月特別例会 レポート



日 時：2017年10月3日（火）19時～21時
場 所：名古屋YMCA本館会議室
出席者：阿部、荒川、遠藤、坂口、下村、高田、早川、服部、坂野、三井、吉田
ゲスト：早川メネット、他1名

阿部一雄

今回の卓話講師はテレビ番組などを制作のお仕事をされている、フリーディレクター 伊藤雄哉様です。フリーディレクターと言っても、どんな仕事をされているか、あまり馴染みのない世界。

そんな馴染みのない世界を、フリーディレクターから見たお話をお聞きしたく、卓話講師をお願いしました。



まずはNHKや民放各社、取り扱ってきた番組の紹介。その番組も知ってる、観たことある等々、有名な番組を作られてきました。次から卓話の本題となる「フリーディレクターから見る番組の裏側」トーク。NHKと民放の番組制作の違い。関わるスタッフの数や体制が異なり、制作方法の違いを興味深く聞きました。

また実際に作られた番組を画面に写しながら、制作の苦労話や番組の見方など「見方を変えると、そう作られているのか」がよくわかりました。また講演の中で特に印象に残ったのは、番組の特性ごとに、どう番組を作るのか・・・でした。

例えばドキュメンタリー番組。ただその人を密着

して撮影していても、単なる記録映像になってしまう。番組の意図として、何を伝えるか、またそれをどう観てもらうのか、制作の裏側をお聞きできました。今回の講演を聞いて、局所属やフリーに関わらず、ディレクターという仕事はオーケストラの指揮者に近いかなと、私は思い浮かべ話を聞いていました。それぞれの人たちをとりまとめ、一つの音楽を奏でる。その中で盛り上げたり、落ち着かせたり・・・演奏に幅を持たせるところなど、番組制作も同じであると感じました。

普段私たちが何気なく観ているテレビ番組も、お聞ききした内容を踏まえて観ると、また違って見えてきました。

伊藤さんありがとうございました。1時間がとても短く感じられました。ディレクターというお仕事は体力的に大変だと思いますが、お体に気を付けてこれからもいい番組制作に取り組んで下さい。



10月通常例会レポート



リーダーOB・OG会に支援金を贈呈

開催日時：2017年10月17日（火）19時～
会 場：神沢YMCA 3階会議室
出席者：下村、荒川、阿部、遠藤、高田、服部、早川、三井、吉田

欠席者：青木、坂口、信田、坂野、松原

3. 議 事

(1) プログラム報告

① YMCA大会

YMCAのブランディングに対する説明と名古屋

YMCA が新しく日本語学校の構想の為、大阪 YMCA からの職員を迎えた。多数の出席者で盛況に終了した。維持会委員の 20 年の表彰は坂野ワイズ・荒川ワイズ。学童キャンプの支援で坂口メネットが特別表彰を受けました。

②日和田クローズキャンプ

信田・三井・早川の 3 名が参加
渡辺（名古屋クラブ）トンボリーダー（OB）他 4 名

(2) 各委員会情報共有

①チャリティーラン 2017 実行委員会

委員名：青木（委員長）、高田

参加者の確認

11月2日（木）15時頃～ラッフル景品袋詰め作業（名古屋 YMCA）

11月4日当日ボランティア AM8時集合 荷下ろし・各クラブの役割が有ります。

②名古屋 YMCA 南山バザー（旧ピースフル・サンデー）実行委員会

委員名：吉田（委員長）、三井

当日のメニュー・役割分担と参加者確認

グランパスブース（チキンナゲット ¥200・ポテト ¥100・飛騨牛メンチカツ ¥200）

材料担当 吉田ワイズ

松坂さんブース（高根コーン）各メンバー多数の参加を希望

アレルギーの表示担当 三井ワイズ

③名古屋地区ワイズ連絡会

委員名：服部（事務局）、荒川（中部情報委員）

10月21日（土）14時～ポテト荷おろし（南山 YMCA）13時45分集合

参加者の確認

④ワイズ将来構想特別委員会（西日本区）

委員名：荒川

後日説明をする

⑤その他委員会

(3) YMCA より

11月2日（木）

2017年度学童キャンプ寄付金お礼の表彰

吉田ワイズ

チャリティーランのリーダーチーム支援金

¥20,000（ファンドより）

(4) その他

①中部部長クラブ訪問日：部長および部キャビネットに一任。

②11月11日（土）～12日（日）京都東稜クラブ合同例会出欠確認

会長より最終確認は10月末とする。

③クリスマスキャロル実行委員の選出について

10月3日特別例会の場で、早川メンにお願いすることになった。

キャロルの場所は JR タワー（例年どうり）曲名は決定済み。

10月中旬に参加募集と練習日時のチラシを

YMCA から郵送をする。

今回の委員会 11月21日（火）6:30～

④2017-2018 予算案訂正について

参加メンバーが確認し承認された。

⑤クラブリーフレット作成の検討（11月以降）

西日本区の各クラブより参考になるリーフレット集めて検討する

⑥西日本区よりメネット事業献金のお願い

メネット会献金は予算どうりの支出とする。

4. 次回例会までの予定

10月29日（日）名古屋 YMCA 南山バザー（南山 YMCA）

11月4日（土）チャリティーラン（名城公園）

11月11日（土）～12日（日）京都東稜クラブ合同例会（長浜市）

11月21日（火）10月例会（19時～ 神沢 YMCA）

第4回名古屋YMCA大会



服部庄三

10月1日（日）「はじまりの時をともに」と題して、今年度の名古屋 YMCA 大会がルブラ王山にて開催されました。開会礼拝と後藤田典子先生の説教、川本龍資理事長の挨拶の後、恒例の表彰式、永年会員表彰ではグランパスから荒川君、荒川メネット、坂野君が20年、会友の柴田君が30年の表彰を受けました。また柴田君はYMCAへの永年の支援協力で特別表彰も併せてうけました。つづいて新しいユースボランティアの認証式、そして活動報告としてリーダーの報告と夏に行われた学童キャンプの報告がされました。



日和田クロージングキャンプ

日 時：2017年10月7日(土)～8日(日)

場 所：御岳日和田キャンプ場

参加者：早川、三井、信田

早川政人

10月7日(土)信田ワイズとAM8時に自宅を出発、3連休の初日には雨模様のせいで車は少なめでした。時々雨が降り日和田の天気を気にしながら順調に走り大桑の道の駅で三井ワイズと合流し昼食は定番のお蕎麦です。

キャンプ場には一番の到着、間をおいてYMCAの車には中井さん・中井コメント・渡辺ワイズ・トンボリーダー、女性のリーダー3名が到着し早々にクロージングの準備に取りかかり男性群は力仕事に女性軍は夕食の準備と別れての作業でしたがまずは炊事場のシンクの排水の詰まり箇所の復旧、メインロッジ前の炊事場の片付けから始め、クラフトセンターでの雪対策で室内の補強とテントサイトのベースの移動等、ほぼ一日の作業は進み終わりました。

夕食はリーダー特性の鍋料理とプログラム用のハンバーグ・焼き芋の試作を美味しく頂き、四方山話にも花が咲き夜遅くまで楽しい時間を過ごしました。

8日は朝食後作業を開始メインロッジ横の倉庫の不要品の仕分けから始めました。過去の活動が思い出させる物や、何に使用した物かも解らないものが多く、宝探しの様になりました。雨ざらしの薪も中に全て収め倉庫の役目ができるスペースが出来完了しました。まだ多くの倉庫の中には不要品があるかも？お宝が眠っているかも？

不要品の仕分けは大切です。Bサイトのトイレの空気抜きの窓を閉じるには余りの重さで悪戦苦闘、これは改良をしなければと思い、次期の宿題で終わりました。参加者の男性が2日間の作業を頑張ってくれました。

来期には又、手直しをして少しでもプログラムが快適に出来る様に工夫を考えます。クロージングの参加者の皆さんには大変ご苦労様でした。

青木メンより一言

グランパス暫く休会の弁

青木哲史

2年前の平成27年8月に入会式をして頂いてから2年2か月が経過しました。入会当初は何でも経験してみようと、積極的にプログラムに参加してきました。しかしながら、会社のリタイアまで残り2年を切り、その後の人生設計を考えると、残された期間で習得すべき資格や新たなビジネスへの準備時間が相当必要な事が分かってきました。それでこの先は主にその準備に費やしたく、この度グランパスを最低一年休会したく下村会長へお願いしました。私は色々な話が聞ける卓話や温泉等近郊の場所でゆ

講演は当日10月1日発表日となる日本YMCAの新しいコンセプト、ブランディングについて中村総主事により説明があり、

- 1 あなたが、したい何かを「みつける」ために。(プログラム)
- 2 あなたが、「つながりたい」誰かを探すために。(活動拠点)
- 3 あなた自身の人生がもっと「よくなる」ために。(かけがえのない場所)

以上のスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」を今後のYMCAのコンセプトとして活動していくことが発表されました。

後半の交流会では新しいロゴマークのついたTシャツを着て、軽食にて懇談の時をもちました。



20年表彰受賞について

荒川恭次

今年のYMCA大会では20年表彰ということで、グランパスクラブからは私と坂野君が受賞しました。20年前と言えば45歳。体力・気力共に人生最高の時期。何やってたのか詳しくは思い出せませんが、嫌な事は思い出さないのだから充実した日々を過ごしていたことと思いますが、20年前に名古屋YMCAに入会したから今があるのです。人生には転機がいくつかありますが、正にその一つがこれだったのです。ワイズメンズクラブに入会し、そしてYMCA会員にならなかつたら、定年退職後の空虚な生活とは程遠いモチベーションの高い忙しく充実した毎日ではなかったことでしょう。私はクリスチャンではありませんが、私をこうして導いてくれた何か大きな力に感謝します。そしてこの先30年、40年表彰を目指そうと想う、今日この頃です。



大会では学童キャンプでキッチン担当として大活躍された坂口メネットの公美さんに感謝

状が贈呈されました。あいにく公美さんは所用で参加できませんでしたので、久美さんの代理でコースケさん(レシピ担当)が感謝状を受けました。

ったり話せる一泊例会が好きでした。チャリランなどの活動ではお会いする機会もありますので今後共宜しく願います。

御 岳 登 り 隊

吉田一誠

晴れていると日和田キャンプ場のメインロッジの前からは御嶽山がよく見えます。見えているのは継子岳（ママコ岳：2,859m）と呼ばれる飛驒側の山頂です。（写真1）

あの頂から下を眺めてみたいといつも思っていました。が、歳も歳（今年8月、後期高齢者！）なのでもうそのチャンスもないだろうとあきらめておりました。ところがなんと、この10月初めに登る機会があり念願を果たすことができました。

御嶽山を361号線の九蔵峠から見ると分かるように（写真2）いくつもの峰々が山頂に連なっています。写真で左端（木曾側）に見えるのが御嶽山の一番高いところが剣が峰（標高3,067m）です。この付近で2014年に噴火により痛ましい事故があったのは記憶に新しいところです。

右端（飛驒側）に見えるのが、継子岳です。剣が峰と継子岳は直線で3Kmほど離れており継子岳付近は噴火の影響は全くなかったようです。

朝早く、飛驒側の濁河温泉口（標高約1700m）をスタート、2100mくらいからは美しい紅葉が始まり、2500mあたりで森林限界を超えると、眼下には雲海が広がり遠くに白山連峰も見えるという、素晴らしい風景が続くおかげで何とか6時間ほどかかり五ノ池山荘（2800m）に到着、素敵なた日を眺め、乾杯！折しも、中秋の名月雲一つない夜空に満月、山小屋も清潔で快適、ほんとに来てみてよかった！と思う間もなく爆睡！キツカッタ！！

翌朝は早起きするも、ご来光は見えず残念、巨大な霜柱を踏みしめて、継子岳山頂を目指しました。山頂から日和田方面を見ると高地トレーニングセンターのトラックがはっきり見えます。（写真3）それをたどっていくと日和田ロッジの屋根らしきものがあり、その近くにメインロッジらしき青いものが見えましたが肉眼でははっきり確認できなかったものの、上から俯瞰でき念願成就！（帰ってから写真を拡大してみたところやはりメインロッジであることが確認できました。写真4）

おまけに頂上付近を散策中、運よくライチョウの家族に遭遇、警戒心もあまりなく目の前をうろろろするライチョウたちに大感激、下山して濁河温泉につかり、筋肉激痛をもみほぐしながら久しぶりに満足感と達成感に浸り、帰路につきました。

歳を取るにつれ、人からも歳をわきまえてといわれ、自分でも歳のせいと限界を作り楽をすることで、体力的、連れて気力もだんだんと干からびていく自分を最近感じておりましたが、今回の体験で、ま

だまだ気力があればやれることがあるということを実感しました。またいつか山に行けることを想って、ジム通いにも良い目標ができました。今回のチャンスを得られたのは学童キャンプのキッチン仲間、坂口公美さんのお陰です。本当にありがとうございました。

写真1 継子岳 メインロッジから見る



写真2 御嶽山 九蔵峠から見る



写真3 継子岳山頂 日和田方面を見る



写真4 写真3を拡大 左側にメインロッジ



YMCAたより



連絡主事 遠藤恵美子

10月1日よりYMCAのロゴマークが変わりました。マークが変わることをきっかけに、「今までは・・・」ではなく、「これからは・・・」という話をしていけるようにしたいと思います。今後のYMCAの活動でも、さまざまな立場の人と一緒に作り上げるものが多くあります。その際には、ぜひ自分や世界がよくなっていくような、つながりを作っていただけたらと思います。

11月のチャリティーランでは障がいを持つ子どもたちへ、チャリティーゴルフでは貧困児童の学童キャンプ参加費支援となります。YMCAの行事を通して、いつも以上に障がいや貧困について考える時間を持っていただけたら嬉しいです。互いを認め合い、社会に希望をもたらすポジティブネットが広がるきっかけになればと思います。

11月予定

- ・11/4 (土) チャリティーラン
- ・11/24 (金) チャリティーゴルフ

その他

1. 今月の誕生日

happy birthday

服部 庄三 (7日)

坂口 功祐 (16日)

congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏名	10 / 3 特別例会	10 / 17 通常例会	10 / 1 Y大会	10 / 7-8 日和田
1	青木 哲史			○	
2	阿部 一雄	○	○		
3	荒川 恭次	○	○	○	
4	遠藤恵美子	○	○	○	
5	坂口 功祐	○	○	○	
6	信田伊知郎				○
7	下村 明子	○	○		
8	高田 士嗣	○	○	○	
9	服部 庄三	○	○	○	
10	早川 政人	○	○	○	○
11	坂野 清治	○			
12	松原 誠				
13	三井 秀和	○	○		○
14	吉田 一誠	○		○	○
	計	11	9	8	4



YMCA大会で配布されたTシャツ

YMCA新ロゴ

